

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズとこらく		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日 ～ 2025年3月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年2月17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	7 年 3 月 27 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全体活動で使用する発達支援室に加え、個室が二部屋あり、子どもの特性に応じて、集団・個別の空間を提供することができます。	環境を最大限に活かして、一人ひとりが安心して、落ち着いて過ごせる空間と時間であるように、配慮・工夫をしています。	引き続き、環境を最大限に活かしながら、安心して安全な空間を提供していきます。
2	日々の支援に関して記録を取り、次回の支援の検証と改善につなげています。	記録を取ることで、子どもの成長を見守り、子ども一人ひとりの強みを重視した支援に繋がてられています。	職員一人一人の気づきを職員全体の気づきとして次の支援へと繋げていきたいと考えています。
3	子どもの気持ちに寄り添った支援を行うとともに、保護者と細やかに情報交換を行い、安心して通園できるようにしています。	個別支援計画書に基づき、子ども一人ひとりのできることを増やしていけるよう支援しています。また、保護者さまの悩みに寄り添い、解決策と一緒に考え、職員同士でも情報共有を行っています。	今後も、子どもや保護者さまとの信頼関係を深めながら、丁寧な支援を行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などで、保護者さまやきょうだい同士の連携を図る機会を作ることが必要だと考えています。	交流する機会を積極的に作ることができなかったことが要因だと考えます。	イベントなどを通じて、保護者さまやきょうだい同士の交流の場を提供したいと考えています。
2	マンツーマンでの支援が必要な子どもが重なった時間帯に支援が手薄になってしまうことがあります。	人員基準を満たしてはいるものの、一対一での対応が必要な時間が重なったとき、職員の数が満たされていなかったと考えます。	もう少し手厚い支援が提供できるよう、人材確保に努めてまいります。
3	毎月避難訓練を行っていますが、事業所内に限ったもので、保護者さまを含め広く周知することはできていません。	参加を促すような連絡ができていないことが要因だと考えます。	訓練の様子については、引き続きInstagramや療育システムで報告する一方で、ご参加いただけるような告知をしていきたいと考えています。